

当協会の健康診断 放射線検査について

「皆様こんにちは、診療放射線技師の望月英紀です」

当協会では放射線に関わる検査は以下の二つです。

■胸部X線検査

■胃部X線（バリウム）検査

今回はこの二つの検査についてお話をいたします。

検査の内容

■胸部X線検査

健康診断といえば必ず実施する検査ですね。胸部にX線を照射し、両肺や心臓、両肺の間にある縦隔（じゅうかく）という器官などの異常を調べます。



撮影時、担当技師より息を止めていただくようお願いしておりますが、これは、肺の動きを止めて画像がボケないようにするためです。

■胃部X線（バリウム）検査

上腹部にX線を照射し、胃、食道、十二指腸などを観察、異常を調べます。

検査の始めに、胃をハッキリと写すための発泡剤とバリウムを飲んでいただきます。

その後、検査台へ移動し、台を動かしながら、そのうえで体の向きを変えていただきます。

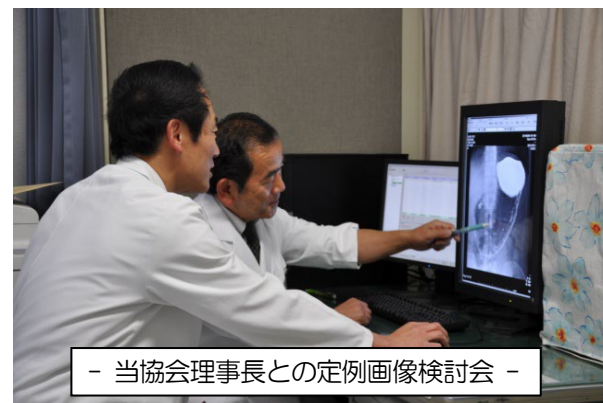


また、検査中に担当技師より息止めやゲップを我慢するようお願いすることもございます。これは、胃の表面を満遍なくバリウムで覆わせて撮影検査するためです。

大変かと思いますが、安全、正確に検査を行うため、ご理解とご協力をお願いいたします。

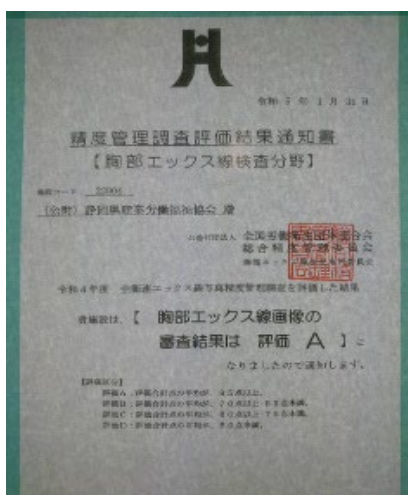
画像の診断

撮影された画像は、当日中に施設内の高精細モニターシステムで、一人一人をチェックし、より診断しやすいよう濃度調整などの画像処理を行い、医師へ読影診断を依頼します。



ちなみに、当施設では画像精度の高いデジタル撮影システムを導入しておりますが、それだけではなく、検査時には、受診者様個人の体型に合わせた設定を撮影ごとに行っており、最小限のX線被曝量で、最大限に読影診断しやすい画像が得られるよう努めております。

この撮影方法による画像精度が認められ、今年度も、全国労働衛生団体連合会主催、胸部エックス線検査精度管理調査において、最高評価である『A 評価』をいただきました。



精度管理調査書『A 評価』

また、胃部X線検査では、日本消化器がん検診学会より認定を受けた、『胃がん検診専門技師』、『胃X線検診読影補助認定技師』が撮影を行っております。検診先を検討される際には、是非ご参考になさってください。



胃がん検診専門技師 認定証



胃X線読影補助技師 認定証

5 おわりに

健診は、具合がわるくなってから病院に行くのとは違い、なぜ受けるのだろうと思われる方もいらっしゃるかもしれません。でも、自分ではわからない身体の変化を、客観的に確認できる貴重な機会です。

たとえ異常が見つかって、早く対処することで社会生活への影響も小さくすみませす。そのためにも、どうぞ年一回の健診を積極的に受けてください。

そして周りの方にもお声かけください。

「異常がなくて安心した！」
「健診で指摘され、早く治療が受けられてよかった！」
という皆様のお声が、私たち職員のやりがいであり喜びです。

これからも、健診施設の診療放射線技師として、精度の高い画像の維持と撮影技術の向上に努めてまいります。

なにか不安なこと、ご不明な点などございましたら、お気軽に当施設までお問い合わせください。

それではまた健康診断でお逢いしましょう。ありがとうございました。